

# ブラジル日本語普及協会創立30周年記念式典

彦田公使挨拶（2019年9月15日）

皆様、おはようございます。

はじめに、三分一理事長、矢田副理事長、普及協会関係者の皆様、各7校の教員の皆様、賛助会員交流会の皆様、そして本日のお集りの皆様、ブラジル日本語普及協会創立30周年の節目を向かえることに心からお祝い申し上げます。

1989年の設立以来、ブラジル日本語普及協会はこれまでに日本語学校運営のほか、日本語教師研修会・教材研究会、スピーチコンテスト等、日本語普及のための取り組みを長年実施されてこられました。このほか、日ブラジル修好100周年記念事業をはじめとする様々な文化イベントに取り組み、2005年には外務大臣表彰を受賞されました。また、日本で勤務経験のある数多くのブラジル外交官も先生方から日本語を学んだと聞いております。皆様のこれまでのご尽力に深く感謝申し上げます。

ブラジル国内の日本語学習者数は年々増加しており、現在では約2万3千人に及んでいます。日本語能力試験の受験者数も2018年にはブラジル全国で約3,600人が受験し、ここブラジル・モデル校でも昨年230名が受験したと聞いております。このように、ブラジルで日本語学習者が増加しているのは、何よりも日本語教育に携わってこられた皆様一人一人のたゆまぬ取組の賜であると考えております。

本年のアマゾン日本人移住90周年、来年の東京オリンピック・パラリンピック開催という機会を捉え、日ブラジル友好関係の更なる強化のために、在ブラジル日本国大使館としても日本語教育を含む様々な分野で取り組んで参ります。

最後になりますが、日本語の更なる普及と皆様の益々のご健勝・ご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。有難うございました。